




ETK0743063F

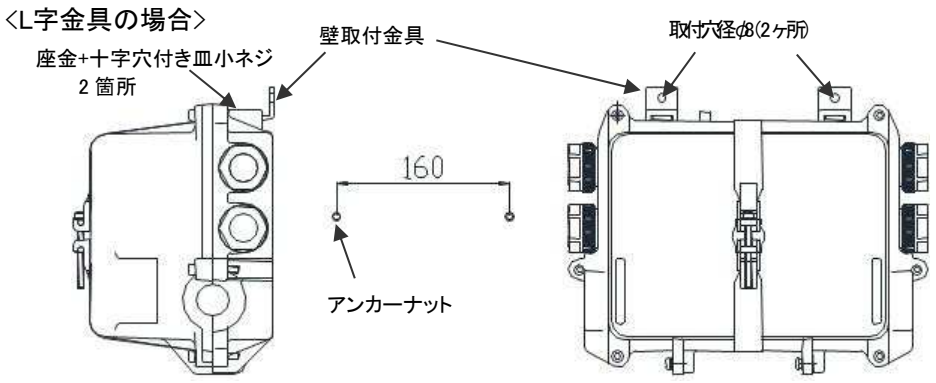
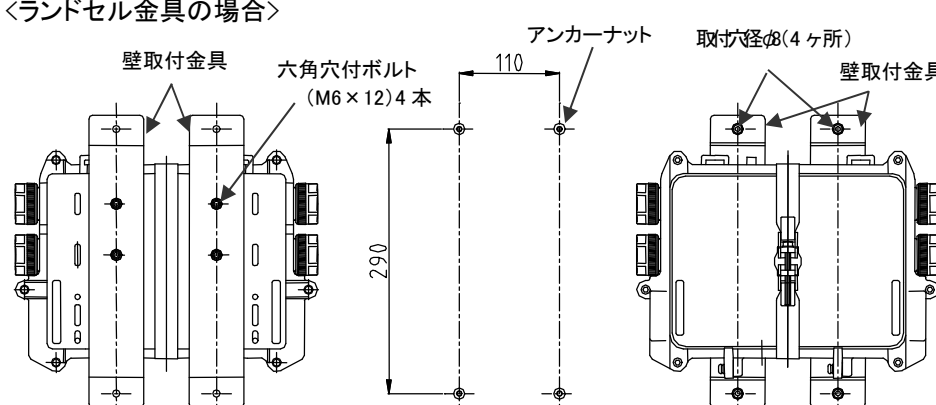
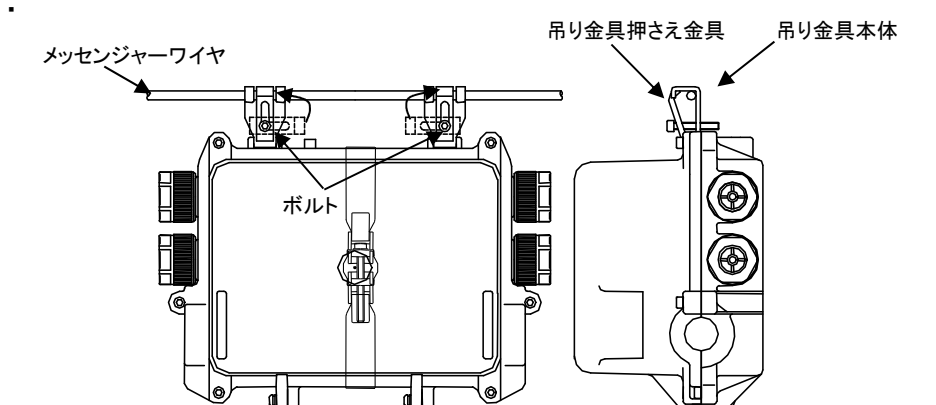
通過型簡易クロージャ
MJC-FNB3/MJC-FNB3-Uシリーズ
標準工法書

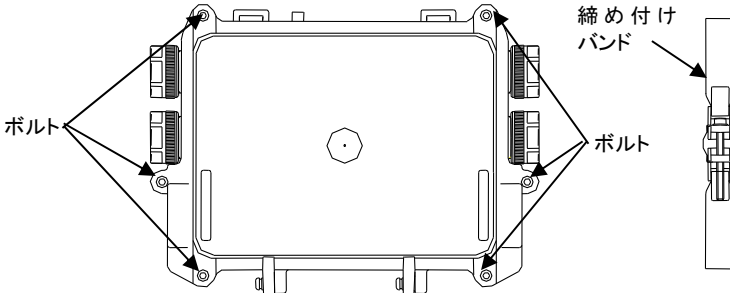
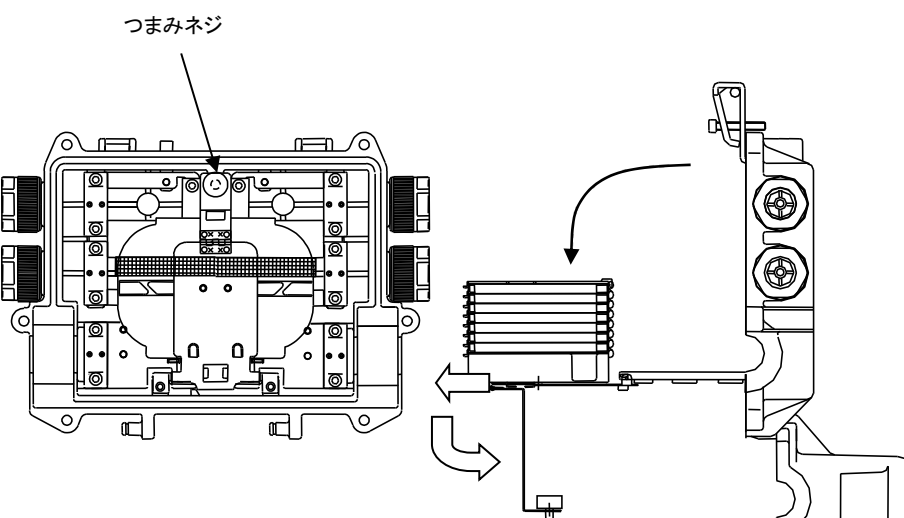
ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。
 お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

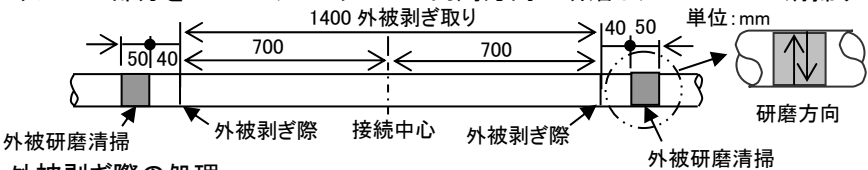

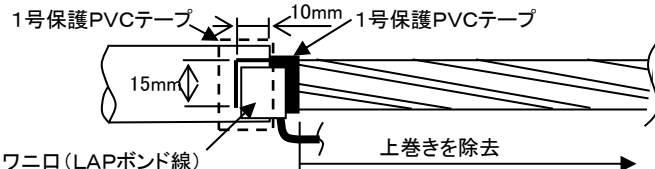
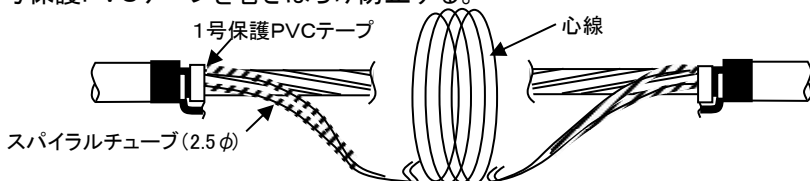
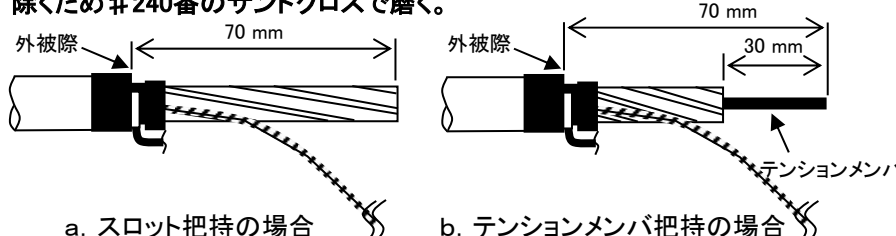
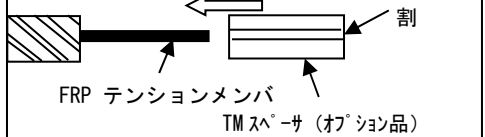
▽ **安全上のご注意** ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～


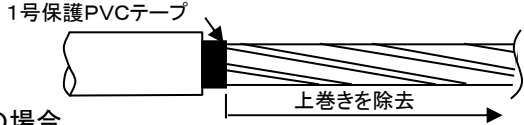
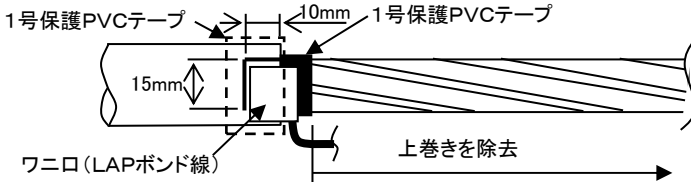
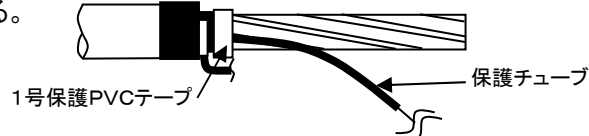
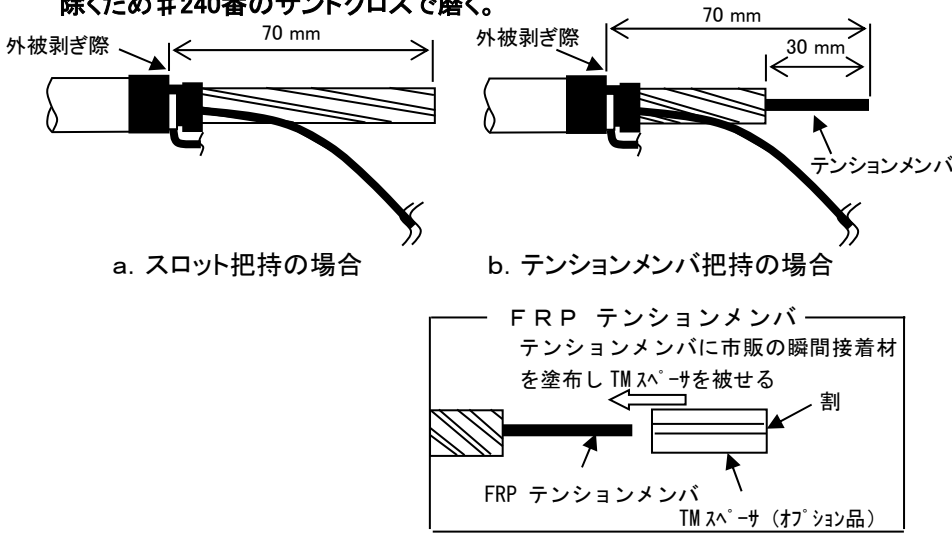
この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

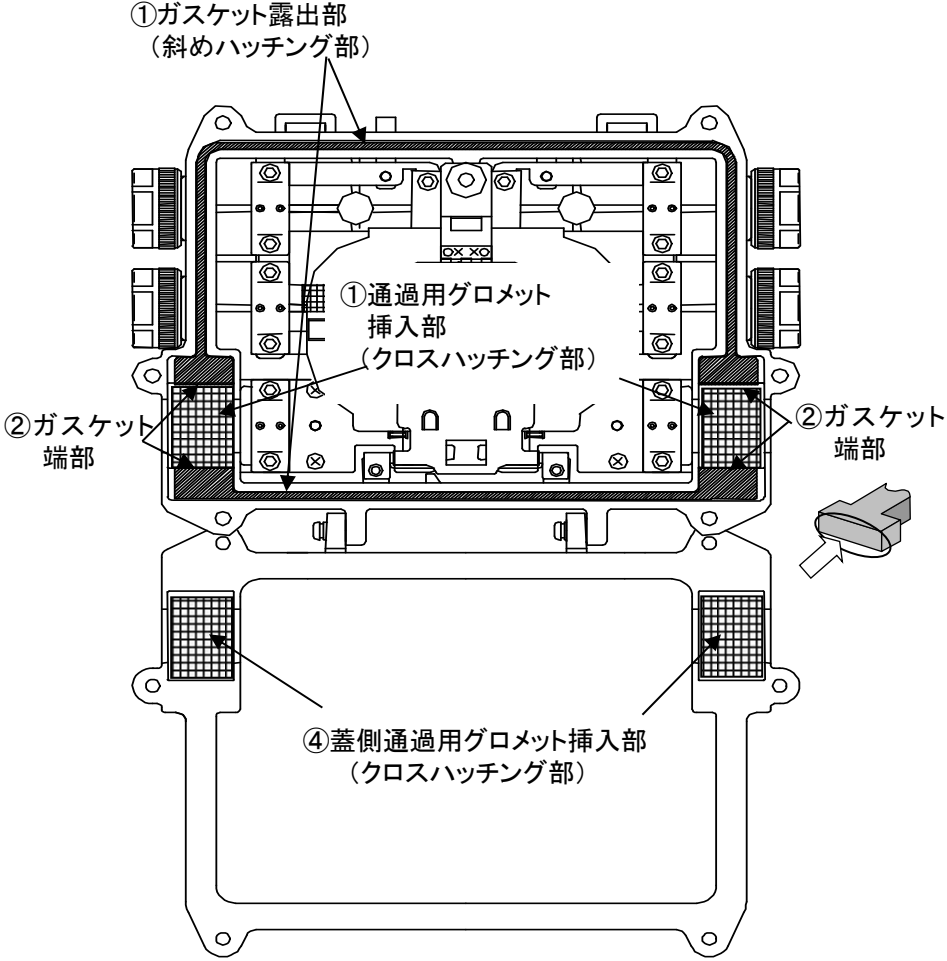
本クロージャに関する安全上のご注意	
 危険 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	—
 警告 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本クロージャは、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 ・ 架空での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご留意ください。
 注意 右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・ 本クロージャの組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin: 5px 0;"> (シーリングテープ「使用厳禁」) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。水の侵入やケーブル及びクロージャの破損の原因となります。 ・ 塩害地域では、ステンレス鋼でも腐食する場合があります。 ・ 鉄道沿線、橋梁部、架空など振動が大きく心線移動が懸念される場所で、一方向撚(S撚)型ケーブルを使用する場合は、「心線移動防止処理」の実施を推奨いたします。
<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">お願い</p> 右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、縫製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乾燥剤が必要な場合は、別途ご用意ください(性能上、長期保管できないため)。また、乾燥剤は光ファイバ心線に圧迫を与えない位置にお入れください。 ・ 光ファイバ心線の配線に関しては、許容曲げ半径30mm以上をお守りください。 ・ 融着作業に関しては、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。 ・ 本クロージャの解体・再組立・導入ケーブルの追加などの作業を行う際は別途、部品の交換が必要とする場合がありますので、事前に弊社・営業担当までご相談ください。 ・ 設置後、長期間(1年以上)経過した後の、解体・再組立作業を行う際は、念のためグロメット(閉塞栓)・ガスケットをあらかじめ、別途ご用意いただくことをおすすめします。

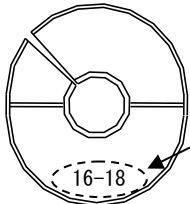
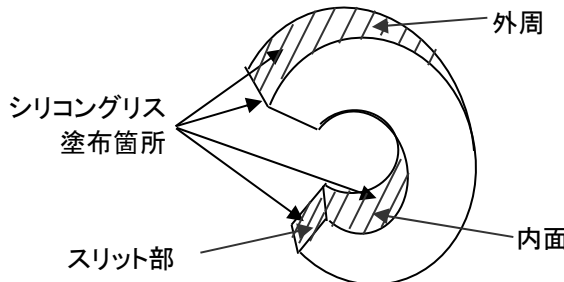
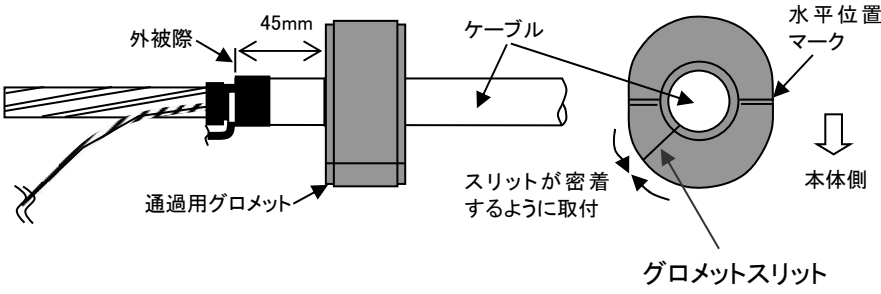
工程No.	作業手順	注意事項
1	<p>壁への固定</p> <ul style="list-style-type: none"> 添付または後付けで壁取付金具を使用する場合、付属のネジを使用してクローージャに取りつける。ネジは締め付けトルク$4N \cdot m$にて均等に締め付けること。 壁へ下図の通りアンカーナット(M6)を取りつける。 壁取付金具周囲を、六角穴付きボルト(M6)で締め付けトルク$4N \cdot m$で締め付けて固定する。 <p>〈L字金具の場合〉</p>  <p>〈壁取付金具の取り付け〉 〈壁へのアンカーナット取付〉 〈壁への取付〉</p> <p>〈ランドセル金具の場合〉</p>  <p>〈壁取付金具の取り付け〉 〈壁へのアンカーナット取付〉 〈壁への取付〉</p>	<p>壁取付タイプをご指定の場合のみの作業です。アンカーナットは本クローージャキットには含んでおりませんので、別途準備下さい。</p>
2	<p>支持線への固定</p> <ul style="list-style-type: none"> 吊り金具のボルトを緩め、メッセンジャーワイヤを吊り金具本体に引っ掛る 吊り金具の押さえ金具をメッセンジャーワイヤに引っ掛け、ボルトを締め付けトルク$7N \cdot m$で締め付けて固定する。 	

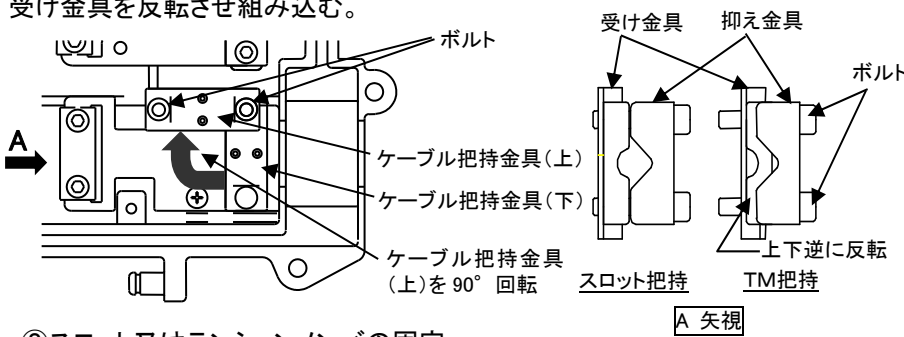
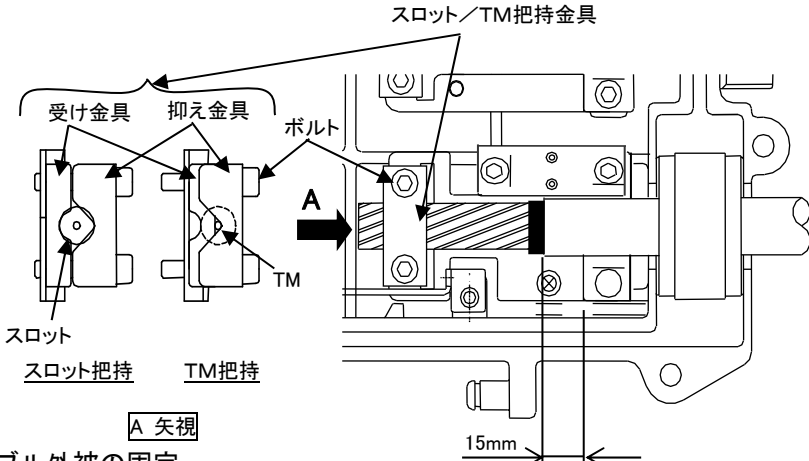
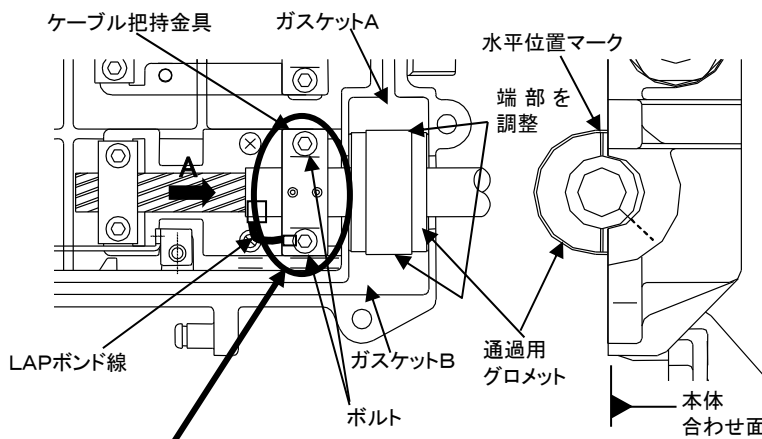
工程No.	作業手順	注意事項
3	<p><u>クロージャの開閉及びトレイの引き出し</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 締め付けバンドを取り外し、本体周囲のボルト6カ所を緩めて、蓋を開ける。  <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ固定金具上部のつまみネジを緩めて、トレイを手前に倒しトレイを引きだします。さらに、トレイ固定金具を手前にスライドさせると180度まで開きます。 	<p>蓋を開ける際は、蓋を急激に開かないこと。ボルトは均等に緩めること。</p> <p>トレイ開閉は急激に行わないこと。</p>

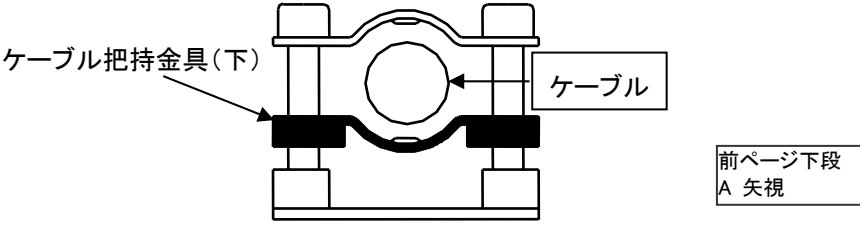
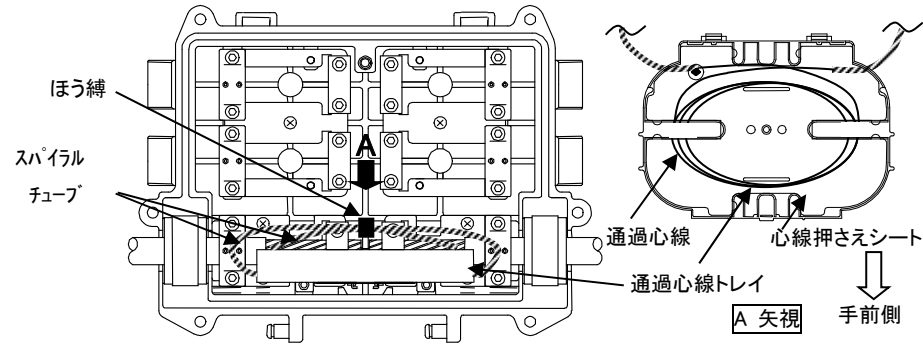
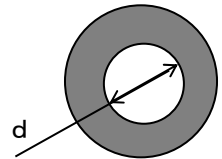
工程No.	作業手順	注意事項
4	<p>通過(主)ケーブルの処理</p> <p>(1) 外被剥ぎ取り及びシール部の研磨清掃 接続中心から両側700mm(合計1400mm)のケーブル外被を剥ぎ取り、下図の通りシール部分を#240サンドクロスで円周方向に研磨しアルコールで清掃する。</p>  <p>(2) 外被剥ぎ際の処理</p> <p>a) プレーンシース又はWBケーブルの場合 外被剥ぎ際に1号保護PVCテープを2回巻き付け、その際より上巻きを取り除く。</p>  <p>b) LAPシースの場合</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外被剥ぎ際に1号保護PVCテープを2回巻き付け、外被にLAPボンド線取付用の切れ込みを入れ、切りおこし、LAPボンド線のワニ口をペンチで挟む。LAPボンド線の取り付け向きは図を参照。 ② 1号保護PVCテープをワニ口の上に3回巻く ③ 上巻きを1号保護PVCテープ際より取り除く。  <p>(3) スパイラル保護チューブの取付 スパイラルチューブ(2.5φ)を350mmに切断しスロット毎に取り付け、その上から1号保護PVCテープを巻きばらけ防止する。</p>  <p>(4) スロットの切断及びテンションメンバの口出し 下図aの通りの寸法でスロットを切断する。なお、テンションメンバ把持の場合は、下図bの通りの寸法で口出しする。テンションメンバは表面の接着材を取り除くため#240番のサンドクロスで磨く。</p>  <p>a. スロット把持の場合 b. テンションメンバ把持の場合</p> <div data-bbox="686 1803 1173 2027"> <p>FRP テンションメンバの場合 テンションメンバに市販の瞬間接着材を塗布しTMスペーサを被せる。</p>  <p>FRP テンションメンバ TMスペーサ (オプション品)</p> </div>	<p>心線を傷つけないように注意して下さい。 研磨は円周方向に行い、長手方向には絶対行わないこと。</p> <p>ジェリーケーブルの場合はジェリーも除去すること。</p> <p>1号保護PVCテープの巻き付けは、スパイラルチューブを締め付けすぎないこと。</p> <p>テンションメンバがFRPの場合はスロット把持を行うか、TMスペーサ(別途購入品)を使用すること。</p>

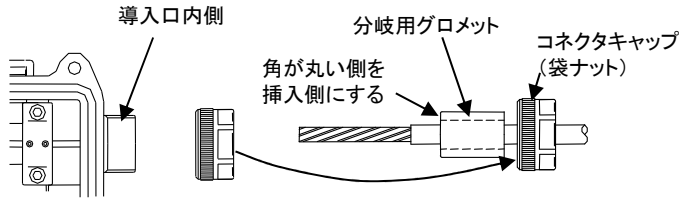
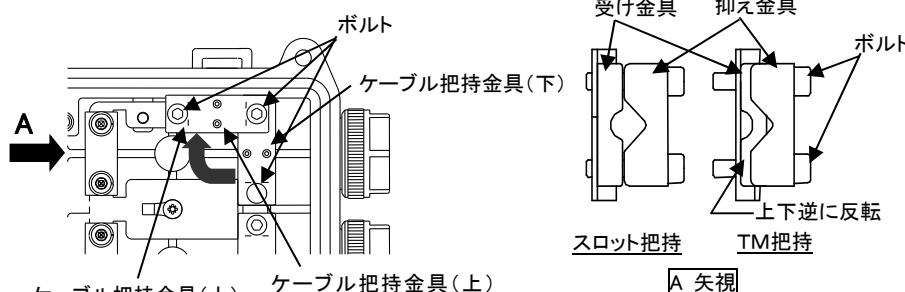
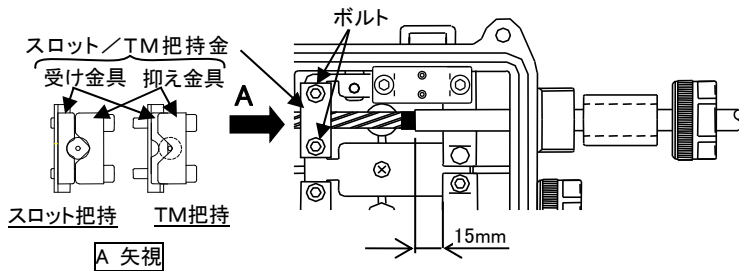
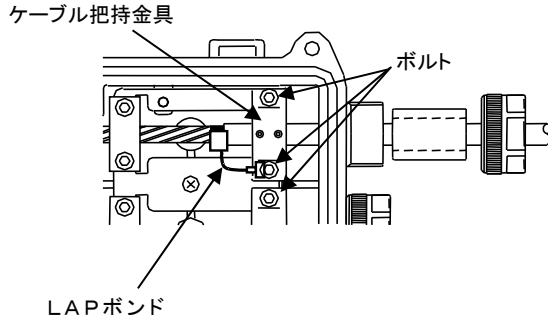
工程No.	作業手順	注意事項
5	<p>端末ケーブルの処理(主・分岐)</p> <p>(1) 外被剥ぎ取り 下図の通りケーブル切断し、1300mm外被を剥ぎ取る。次にシール部分のケーブル外被を#240サンドクロスで円周方向に研磨しアルコールで清掃する。</p>  <p>(2) 外被剥ぎ際の処理</p> <p>a) プレーンシース又はWBケーブルの場合 外被剥ぎ際に1号保護PVCテープを2回巻き付け、その際より上巻きを取り除く。</p>  <p>b) LAPシースの場合</p> <p>① 外被剥ぎ際に1号保護PVCテープを2回巻き付け、外被にLAPボンド線取付用の切れ込みを入れ、切りおこし、LAPボンド線のワニ口をペンチで挟む。LAPボンド線の取り付け向きは図を参照。</p> <p>② 1号保護PVCテープをワニ口の上に3回巻く</p> <p>③ 上巻きを1号保護PVCテープ際より取り除く。</p>  <p>(3) 保護チューブの取付 保護チューブ(2.5φ)をスロット毎に取り付け、その上から1号保護PVCテープを巻きばらけ防止する。</p>  <p>(4) スロットの切断及びテンションメンバの口出し 下図aの通りの寸法でスロットを切断する。なお、テンションメンバ把持の場合は、下図bの通りの寸法で口出しする。テンションメンバは表面の接着材を取り除くため#240番のサンドクロスで磨く。</p> 	<p>外被剥ぎ際はクロージャのケーブル導入口に現物合わせで設定する。この際にケーブルスラグはやや長めで設定して下さい。</p> <p>心線を傷つけないように注意して下さい。</p> <p>研磨は円周方向に行い、長手方向には絶対行わないこと。</p> <p>ジェリーケーブルの場合はジェリーも除去すること。</p> <p>保護チューブの長さはトレイ入口までの長さを考慮して切断しておくこと。</p> <p>1号保護PVCテープの巻き付けは、保護チューブを締め付けすぎないこと。</p> <p>テンションメンバがFRPの場合はスロット把持を行うか、TMスペーサ(別途購入品)を使用すること。</p>

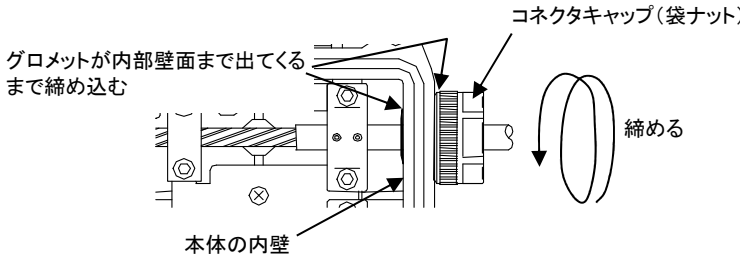
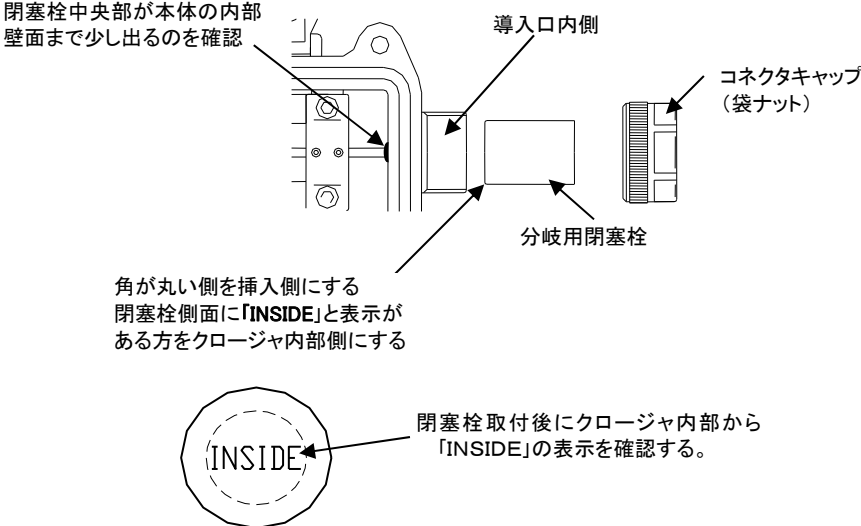
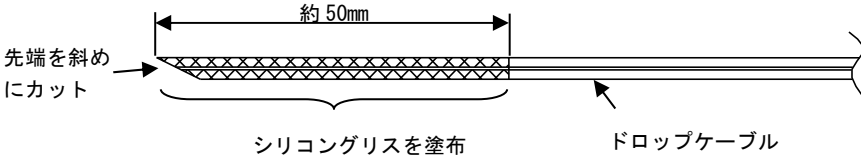
工程No.	作業手順	注意事項
6	<p><u>ガスケットの防水処理</u></p> <p>(1) 本体側への処理</p> <p>① ガスケット露出部分全体にシリコングリスを均等に塗布する。</p> <p>② ガスケット端部(合計4カ所)にシリコングリスを均等に塗布する。</p> <p>③ 通過用グロメット挿入部(合計2カ所)へシリコングリスを均等に塗布する。</p> <p>(2) 蓋への処理</p> <p>④ 蓋裏面の通過用グロメット挿入部(合計2カ所)へシリコングリスを均等に塗布する。</p> 	

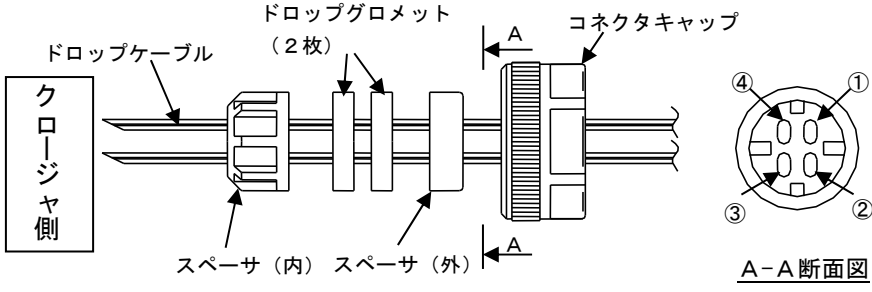
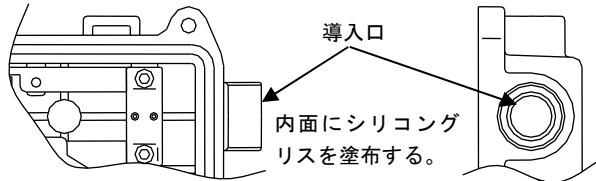
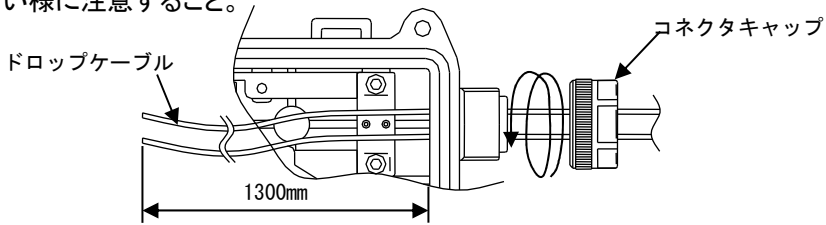
工程No.	作業手順	注意事項																				
7	<p>通過(主)ケーブルのシール及び固定</p> <p>(1)通過用(主)グロメットの選定 通過用(主)グロメットは、グロメット名称とケーブル外径が適合したものを使用すること。</p> <p style="text-align: center;">通過ケーブル用グロメット名称及び適用ケーブル外径</p> <table border="1" data-bbox="354 414 1141 752"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>適用ケーブル外径 [mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>閉塞栓</td> <td>— (閉塞)</td> </tr> <tr> <td>ゴムグロメット<9></td> <td>8~10</td> </tr> <tr> <td>ゴムグロメット<11></td> <td>10~12</td> </tr> <tr> <td>ゴムグロメット<13></td> <td>12~14</td> </tr> <tr> <td>ゴムグロメット<15></td> <td>14~16</td> </tr> <tr> <td>ゴムグロメット<17></td> <td>16~18</td> </tr> <tr> <td>ゴムグロメット<19></td> <td>18~20</td> </tr> <tr> <td>ゴムグロメット<21></td> <td>20~22</td> </tr> <tr> <td>ゴムグロメット<23></td> <td>22~24</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">  <p>適用ケーブルサイズの表示を確認</p> <p>通過ケーブル用グロメット図</p> </div> <p>注意: 導入ケーブルの外径と、グロメットサイズが違った場合はグロメットを適正なサイズに取替てください。 絶対に、「シーリングテープ」は使用しないでください。 シーリングテープを使用すると、気密及び防水特性を保証できません。</p> <p>(2)通過用(主)グロメットの処理 内面(スリット部を含む)及び外周にシリコングリスを均一に塗りのばす。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(3)通過用(主)グロメットの取付 グロメット水平位置マークが本体/蓋の嵌合面と一致する方向に向け、グロメットスリットを本体側に向く様にケーブルに取りつける。グロメットスリットはなるべく密着するように取りつける。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	名称	適用ケーブル外径 [mm]	閉塞栓	— (閉塞)	ゴムグロメット<9>	8~10	ゴムグロメット<11>	10~12	ゴムグロメット<13>	12~14	ゴムグロメット<15>	14~16	ゴムグロメット<17>	16~18	ゴムグロメット<19>	18~20	ゴムグロメット<21>	20~22	ゴムグロメット<23>	22~24	<p>ケーブル外径に合ったグロメットを使用すること。 ゴミが付着しないように注意のこと。また、ゴミが付着した場合は確実に除去すること。</p>
名称	適用ケーブル外径 [mm]																					
閉塞栓	— (閉塞)																					
ゴムグロメット<9>	8~10																					
ゴムグロメット<11>	10~12																					
ゴムグロメット<13>	12~14																					
ゴムグロメット<15>	14~16																					
ゴムグロメット<17>	16~18																					
ゴムグロメット<19>	18~20																					
ゴムグロメット<21>	20~22																					
ゴムグロメット<23>	22~24																					

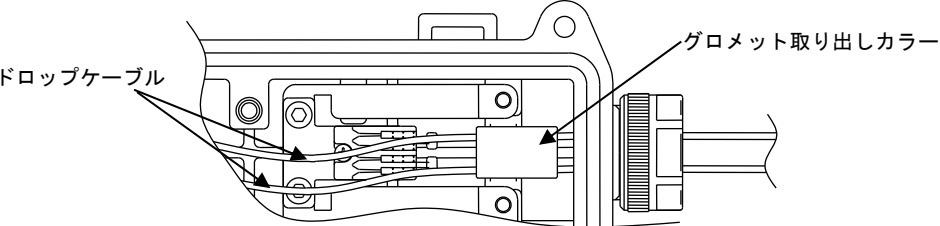
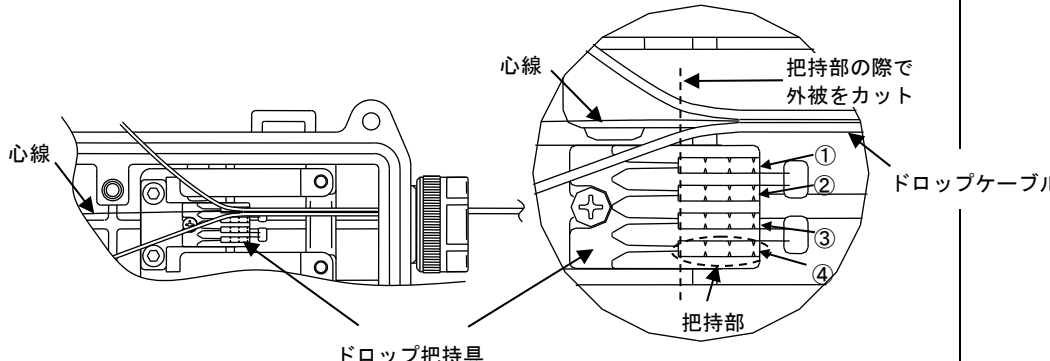
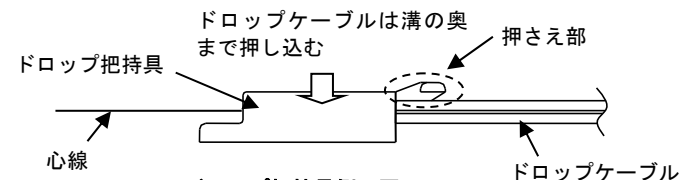
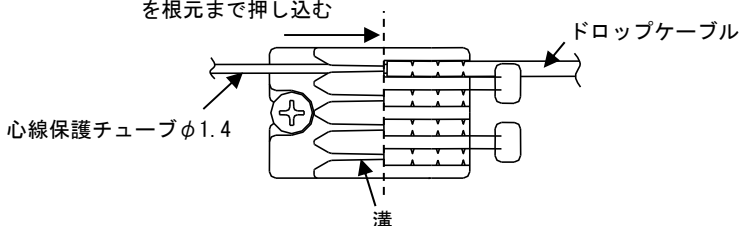
工程No.	作業手順	注意事項
7	<p>(4) スロット又はテンションメンバの固定及びケーブル外被の固定</p> <p>① ケーブル把持の準備 ケーブル把持金具のボルトを緩め、ケーブル把持金具(上)を90°回転させる。スロット/TM把持金具は出荷時、スロット把持の組み込みとなっております。テンションメンバ把持の際は、ボルトを緩め下図の通りスロット/TM把持金具の受け金具を反転させ組み込む。</p>  <p>② スロット又はテンションメンバの固定 スロット/TM把持金具の受け金具と抑さえ金具でスロット又はテンションメンバを挟み、ボルトを締め付けトルク4N・mで締め付け固定する。</p>  <p>③ ケーブル外被の固定 ケーブル外被をケーブル把持金具で挟み、ボルトを締め付けトルク2N・mで締め付けて固定する。通過用グロメットのスリット方向が本体側にあること、水平位置マークが本体の合わせ面と一致していることを確認し、ガスケットA、Bの端面がグロメット側面に真っ直ぐ接する様に調整する。</p> <p><注意> <u>層燃・SZ型ケーブルの場合は、2N・mで締め付けると変形しますので、変形しない程度にケーブルを見て確認して締め付けて下さい。(ケーブル変形によるロス増防止)</u></p>  <p>ケーブル把持金具の説明(上図丸印部拡大…次ページ上段参照)</p>	<p>ケーブル固定位置はケーブル把持金具端部から外被際が15mmとなる様に固定。</p> <p>ケーブルがLAPシースの場合はLAPボンド線の端子をケーブル把持金具ボルトと共締めすること。</p>

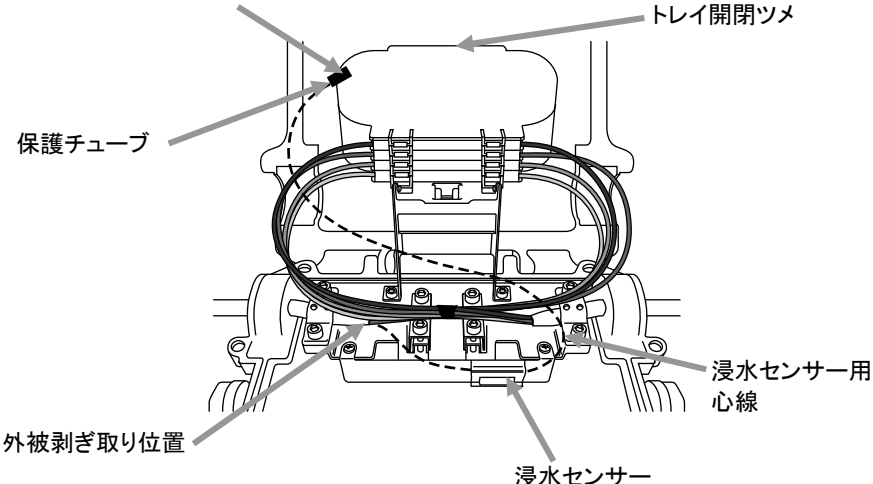
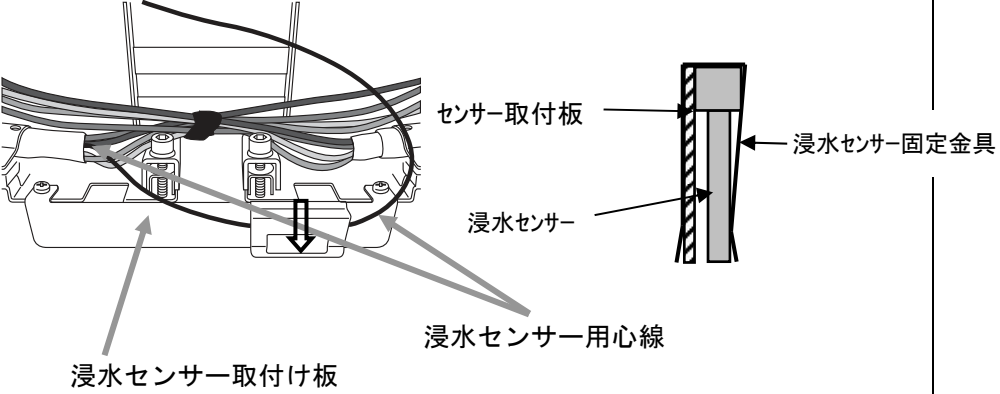
工程No.	作業手順	注意事項																		
7	<p>ケーブル把持金具の説明 <通過(主)ケーブル用ケーブル把持金具(下)のみ適用></p>  <p>導入ケーブルの外径 19mm 未満の場合は導入ケーブル外径に適合する、スペーサ付き把持金具(塗りつぶし)が組み込まれ出荷されているので、その状態のままご使用ください。</p>	<p>導入ケーブル外径により、専用ケーブル把持金具(下)が組込まれ出荷される。</p> <p>※ 分岐ケーブルには該当しません。</p>																		
8	<p>通過心線の収納 スパイラルチューブ(通過心線)を通過ケーブル用のスロット/TM把持金具の上若しくは、スロット/TM把持金具の際(分岐ケーブル導入側)を通る様に、通過心線トレイに配線する。相互の通過心線の交差部分は1号保護PVCテープ等でほう縛する。心線余長はループ取りし余長収納する。最後に心線押さえシートを収納心線の上にはめ込む。</p> 	<p>心線の撚りに沿ってループ取りし、心線に急激な撚りが残らない様に収納する。</p> <p>心線の曲げ半径は30mm以上となるように配線及び余長収納のこと。</p> <p>心線押さえシートを使用する場合は心線の噛み込みに注意し、心線抑えの下にくぐらせ取りつける。</p>																		
9	<p>分岐ケーブルのシール及びケーブル固定 (1)分岐用グロメットの選定 分岐用グロメットはグロメット名称とケーブル外径が適合したものを使用すること。 分岐ケーブル用グロメット名称及び適用ケーブル外径</p> <table border="1" data-bbox="276 1568 1193 1809"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>適用ケーブル外径 [mm]</th> <th>実際の穴径(d) [mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分岐閉塞栓</td> <td>—(閉塞)</td> <td>—(閉塞)</td> </tr> <tr> <td>分岐グロメット<10></td> <td>8~11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>分岐グロメット<12></td> <td>10~13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>分岐グロメット<14></td> <td>12~15</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>分岐グロメット<17></td> <td>15~18</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>  <p>分岐ケーブル用グロメット図</p> <p>・絶対に、「シーリングテープ」は使用しないでください。 シーリングテープを使用すると、気密及び防水特性を保証できません。</p>	名称	適用ケーブル外径 [mm]	実際の穴径(d) [mm]	分岐閉塞栓	—(閉塞)	—(閉塞)	分岐グロメット<10>	8~11	12	分岐グロメット<12>	10~13	14	分岐グロメット<14>	12~15	16	分岐グロメット<17>	15~18	18	<p>ケーブル外径に合ったグロメットを使用すること。</p> <p>ゴミが付着しないように注意のこと。また、ゴミが付着した場合は確実に除去すること。</p>
名称	適用ケーブル外径 [mm]	実際の穴径(d) [mm]																		
分岐閉塞栓	—(閉塞)	—(閉塞)																		
分岐グロメット<10>	8~11	12																		
分岐グロメット<12>	10~13	14																		
分岐グロメット<14>	12~15	16																		
分岐グロメット<17>	15~18	18																		

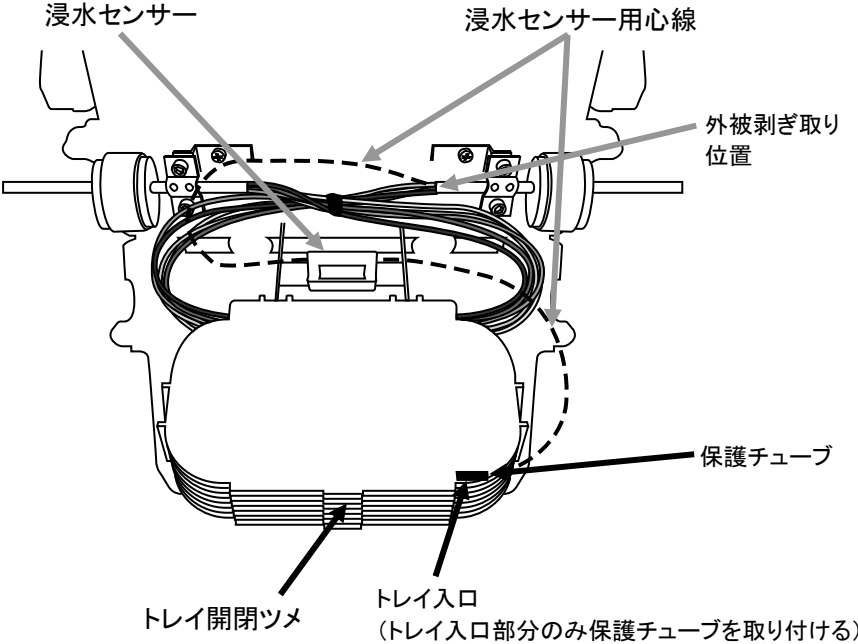
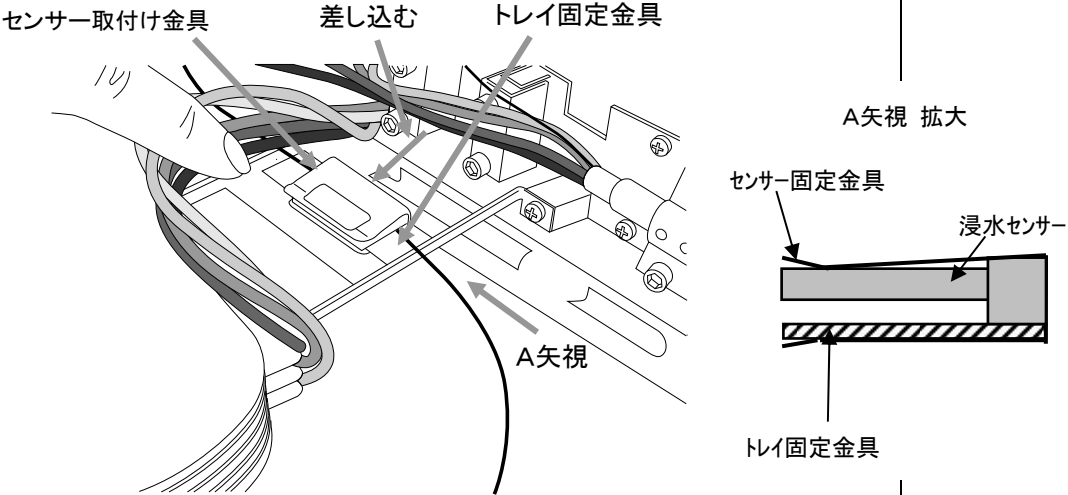
工程No.	作業手順	注意事項
9	<p>(2)ケーブルへの分岐用グロメット及びコネクタキャップ(袋ナット)取り付け コネクタキャップ(袋ナット)を緩めて取り外し、導入口内側及び分岐用グロメットの内部と外部全面にシリコングリスを薄く均一に塗布してコネクタキャップと共にケーブルに取りつける。</p>  <p>(3)スロット又はテンションメンバの固定及びケーブル外被の固定</p> <p>①ケーブル把持の準備 ケーブル把持金具のボルトを緩め、ケーブル把持金具(上)を90°回転させる。スロット/TM把持金具は出荷時、スロット把持の組み込みとなっております。テンションメンバ把持の際はボルトを緩め、下図の通りスロット/TM把持金具の受け金具を反転させ組み込む。</p>  <p>ケーブル把持金具(上) ケーブル把持金具(上)を90°回転させる</p> <p>②スロット又はテンションメンバの固定 スロット/TM把持金具の受け金具と抑さえ金具でスロット又はテンションメンバを挟み、ボルトを締め付けトルク4N・mで締め込み固定する。</p>  <p>③ケーブル外被の固定 ケーブル外被をケーブル把持金具で挟み締め付けトルク2N・mでボルトを締め込み固定する。 * 層燃ケーブルの締め付けは、7項(4)-③の注意を参照し注意して締め付けて下さい。</p> 	<p>分岐用グロメットは、角が丸い側を挿入側にする。</p> <p>ケーブルはケーブル把持金具端部から外被隙が15mmとなる様に固定。</p> <p>ケーブルがLAPシースの場合はLAPボンド線の端子をケーブル把持金具ボルトと共締めすること。</p>

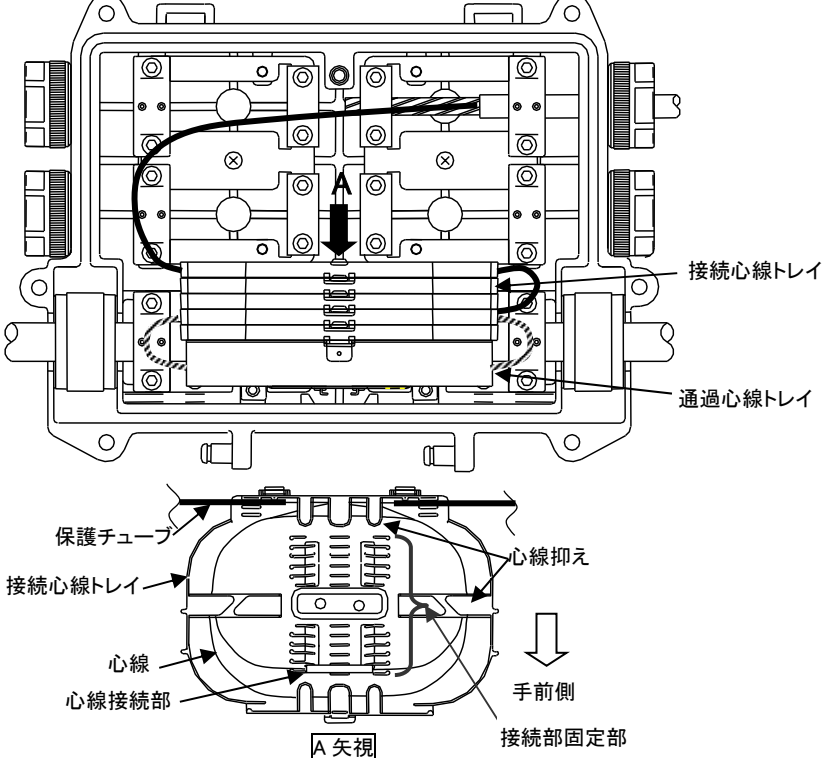
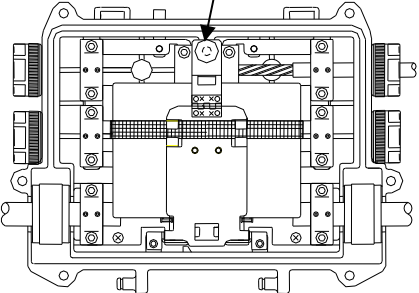
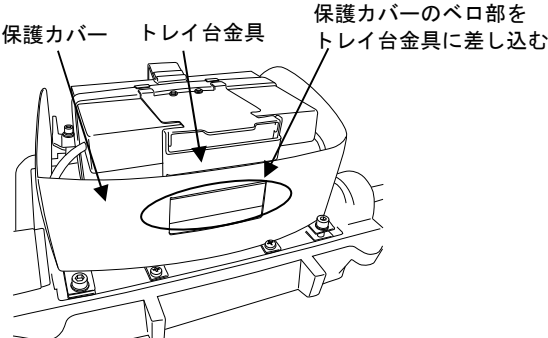
工程No.	作業手順	注意事項
9	<p>(4)コネクタキャップ(袋ナット)の締め付け コネクタキャップ(袋ナット)をグロメットが本体の内部壁面まで出てくるまで締め込む。</p>  <p>(5)分岐導入口の閉塞 <u>シリコングリスを導入口内側及び分岐用閉塞栓の外部全面にシリコングリスを薄く均一に塗布し、導入口に挿入し閉塞栓が密着する(中央部が本体の内部壁面まで少し出る状態)までコネクタキャップ(袋ナット)を締め付ける。</u></p> <p>絶対に、「シーリングテープ」は使用しないでください。 シーリングテープを使用すると、気密及び防水特性を保証できません。</p>  <p>閉塞栓中央部が本体の内部壁面まで少し出るのを確認</p> <p>角が丸い側を挿入側にする 閉塞栓側面に「INSIDE」と表示がある方をクロージャ内部側にする</p> <p>閉塞栓取付後にクロージャ内部から「INSIDE」の表示を確認する。</p>	<p>コネクタキャップが手締めで無理な場合はウォーターポンププライヤ等でコネクタキャップを握り締め付ける。</p> <p>この際はコネクタキャップが破損しないように布切れ等で保護すること</p>
10	<p>ドロップケーブルの実装 (1)ドロップケーブルの処理 ドロップケーブルの先端を斜めにカットして、先端から 50mm 程度にシリコングリスを薄く全面に塗布する。</p>  <p>約 50mm</p> <p>先端を斜めにカット</p> <p>シリコングリスを塗布</p> <p>ドロップケーブル</p>	

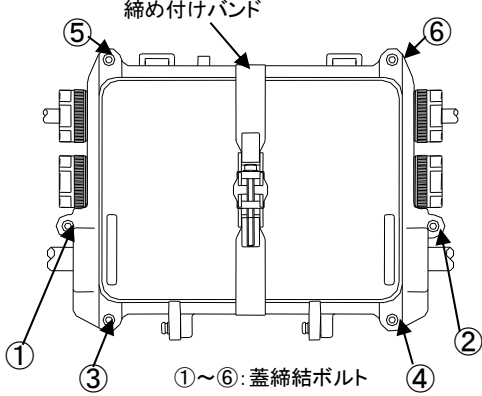
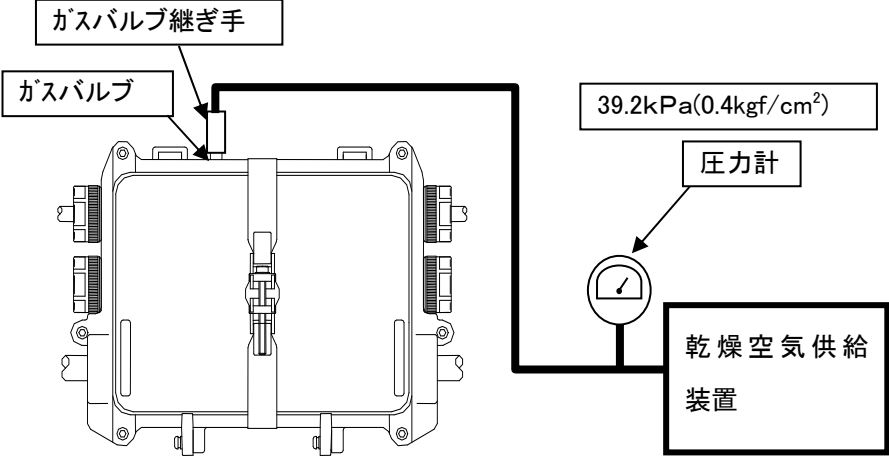
工程No.	作業手順	注意事項
10	<p>(2)ドロップケーブルの挿入</p> <p>・ドロップ下図の順番でドロップ部材にドロップケーブルを通す。この際、ドロップグロメットには予め、千枚通しまたはドロップ支持線で下穴を開けておく。ドロップケーブルは図の①～④の順に導入する。</p>  <p>・導入口内面にシリコングリスを塗布し、スペーサ、グロメットを順に導入口に挿入する。スペーサ及びグロメットは導入口の奥まで押し込むこと。</p>  <p>・クロージャ内部にドロップケーブルを1300mm引き込む。次に、下写真のようにコネクタキャップ(袋ナット)をグロメットがスペーサの穴からはみ出すところまで締め付ける。</p> <p>* スペーサ(外)をマイナスドライバーで押さえる又はドロップケーブルを引張りながらコネクタキャップを締め付ける等を行い、ドロップケーブルに撚りが加わらない様に注意すること。</p> 	<p>スペーサ(内、外)は平らな面をドロップグロメットの方に向けること。</p> <p>コネクタキャップが手締めで無理な場合はウォーターポンププライヤ等でコネクタキャップを握り締め付ける。この際はコネクタキャップが破損ないように布切れ等で保護すること。</p>

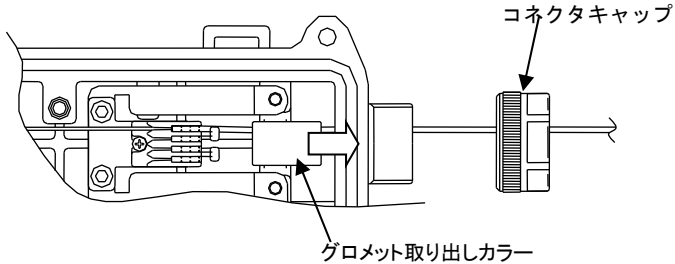
工程No.	作業手順	注意事項
10	<p>(3)ドロップケーブルの把持 ・「グロメット取り出しカラー」にドロップケーブルを全て挿入する。</p>  <p>・ドロップケーブルの外被をドロップ把持具の中央付近まで引き裂き、心線を取り出す。ドロップケーブルの外被をドロップ把持具の把持部際で切断する。ドロップケーブルは下図の番号順に挿入する。</p>  <p style="text-align: center;">ドロップ把持具拡大図</p> <p>・ドロップ把持具の溝にドロップケーブルを上から押し込み、ケーブルを固定する。ドロップケーブルは把持具の押さえ部の下に挿入する。</p>  <p style="text-align: center;">ドロップ把持具側面図</p> <p>・350mmにカットした心線保護チューブφ1.4を心線に被せて、把持具の溝に差し込む。</p> <p style="text-align: center;">心線保護チューブφ1.4 を根元まで押し込む</p> 	<p>心線に傷を付けないよう注意すること。</p>

工程No.	作業手順	注意事項
11	<p><u>浸水センサーの配線方法及び取付け</u></p> <p>1. 水平設置の場合</p> <p>(1)心線の配線は、下図のように浸水センサー用心線のみをシース剥ぎ取り位置から単独で取り出し、約30mmに切断した保護チューブにその心線を通しておく。心線は“S字”配線でトレイ開閉ツメ側の入口に導入し保護チューブで固定する。 トレイ入口 (トレイ入口部分のみ保護チューブを取り付ける)</p>  <p>※右側ケーブルからの場合はセンサー取付け位置を左に設定のこと。</p> <p>(2)心線をセンサーに取り付ける。添付資料ETK9943038を参照。</p> <p>(3)センサー取付け金具へ浸水検知センサーを差し込みます。方向はセンサーのフタ側を奥にセットする。</p> <p>(4)センサー取付け金具の下部を広げて浸水センサ取り付け板へ差し込む。 (センサー取付け金具は下図のように、浸水センサー取り付け板の上部にセンサー取付け金具が当たるまで確実に差し込み固定すること)。</p> 	<p>浸水センサー用心線は裸配線で問題ありませんが、スパイラル識別チューブを巻き付け配線してもよい。</p>

工程No	作業手順	注意事項
11	<p>2. 壁掛設置の場合</p> <p>(1) 心線の配線は、下図のように浸水センサー用心線のみをシース剥ぎ取り位置から単独で取り出し、約30mmに切断した保護チューブにその心線を通しておく。心線は“S”字配線でトレイ開閉ツメ側の入口に導入し保護チューブで固定する。</p>  <p>(2) 心線を、センサーに取り付ける。添付資料 ETK9943038を参照。</p> <p>(3) センサー取付け金具へ浸水検知センサーを差し込みます。方向はセンサーのフタ側を奥側にセットする。</p> <p>(5) センサー取付け金具の下部を広げてトレイ固定金具の中心内側へ差し込む。</p> 	<p>浸水センサー用心線は裸配線で問題ありませんが、スパイラル識別チューブを巻き付け配線してもよい。</p>

工程No.	作業手順	注意事項
12	<p>心線接続 所定の心線接続方法で接続してください。</p>	<p>ご使用機器の 説明書参照</p>
13	<p>接続心線の収納 接続部を接続心線トレイの中央にある接続部固定部へ固定し、曲げ半径が30mm以上となるようにループ取りし余長心線を収納する。</p> 	<p>余長のループ取りの際は、心線に撚りが入らないように注意のこと。</p> <p>配線は曲げ半径30mm以上となるように注意すること。</p> <p>心線抑えシートを使用する場合は心線の噛み込みに注意し、心線抑えの下にくぐらせ取りつける。</p>
14	<p>保護カバーの取り付け (1) 配線された心線の曲げ径 (R30mm以上確保) に注意しながら、トレイを収納し、つまみネジを締め固定する。</p>  <p>(2) クロージャ締結時の心線挟み込み防止のため、全体を覆う様に保護カバーを取り付ける。</p>  <p style="text-align: center;">クロージャ背面図</p>	

工程No.	作業手順	注意事項
15	<p>クロージャの締結</p> <p>(1) 蓋を回転して本体に嵌合し、蓋周囲6カ所のボルトを締め付けトルク$4\text{N}\cdot\text{m}$で締め付ける。数字の順番で均等に閉め込むこと(3~4回に分け均等に手締めで締め付けること)。</p> <p>(2) 締め付けバンドを筐体中央に取付、締め付けトルク$7\text{N}\cdot\text{m}$で締め付ける。</p> <p>(3) 蓋周囲のボルト及び締め付けバンドのボルトを再度規定トルクで締め付ける(増し締め)</p>  <p><注意> ボルト締め付の際は、「電動ドライバー」は使用しないこと。 (ボルトを緩める時は使用可)</p>	<p>蓋を本体に吻合させる際には、心線の噛み込みが無いように注意のこと。</p> <p>通過ケーブル用グロメットの噛み込みがないよう注意のこと。</p> <p>蓋をボルトで締め込むと通過用グロメットが膨れてきますが特性上問題ありません。</p>
16	<p>ガスフラッシュテスト</p> <p>(1) 乾燥空気供給装置からの接続部とクロージャのガスバルブを継ぎ手で接続し、$39.2\text{kPa}(0.4\text{kgf}/\text{cm}^2)$の圧力を供給しながら、点検液をクロージャのシール部に塗布して漏洩箇所の無いことを約10分間確認する</p>  <p>(2) 継ぎ手を取り外し、ガスバルブ部に点検液を塗布し漏洩の無いことを確認する。</p> <p>(3) 点検終了後、点検液を真水で洗い流す。</p> <p>(4) クロージャ内部の空気を抜き、ガスバルブのキャップを取りつける</p>	<p>再組立時のフラッシュテストで、漏洩が発生した場合、グロメット及び閉塞栓、ガスケットを新品に交換して下さい。</p> <p>39.2kPaを越える内圧をクロージャにかけないようにして下さい。</p>

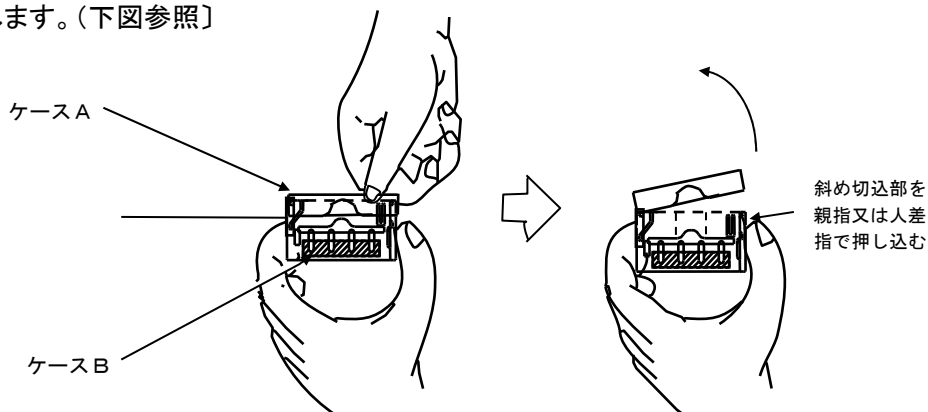
工程No.	作業手順	注意事項
17	<p><u>ドロップケーブルの増設及び撤去</u></p> <p><増設></p> <p>(1)ドロップグロメットの取り出し ドロップケーブルを増設する場合は、まず、コネクタキャップを緩めて取り外す。 次に、あらかじめ挿入しておいた「グロメット取り出しカラー」を内側から手で押し て、ドロップグロメット(スペーサも)を外側に全て押し出す。</p>  <p>(2)増設ドロップケーブルの実装 工程8に示す手順による。</p> <p><撤去></p> <p>(1)ドロップグロメットの取りだし <増設>時と同様にドロップグロメットを取りだす。</p> <p>(2)ドロップケーブルの撤去 他の心線に触れない様に注意しながらドロップケーブルをグロメットから引き抜く</p> <p>(3)撤去後の処理 ケーブルを撤去したドロップケーブルの穴はそのままにし、工程9に示す手順と 同様にコネクタキャップを締め込む。</p>	

工程 NO	作業手順	注意事項
18	<p>クロージャの固定例 <水平固定の場合> (1)クロージャから出た左右のケーブルは、10cm以上の直線部を確保してください。 (2)直線部分には、下図のように、クレモナロープ等でケーブルをしっかりと縛るようにしてください。</p> <div data-bbox="375 582 1053 862" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">M J C - F N B 3 の情報BOX内固定例</p> <p>直線部確保とケーブルほう縛により、ケーブル余長を情報BOX内に収納する際、クロージャに無理な曲がりを与えないとともに、グロメットに不均一な負荷が加わらない効果があります。また、別なケーブルとの混在時でも影響を受けなくなります。</p>	

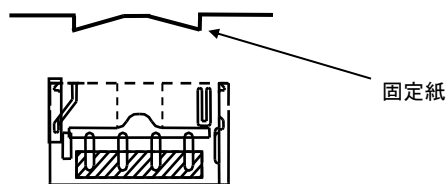
浸水検知センサー取付け方法

1. ケースA・ケースBの外し方

図のように、浸水検知センサーのケースBの両わきを指で押さえケースBの端を親指又は人差指で斜め切り込み部を押し込む様になしながら、もう一方の手で押し込んだ側のケースAを引いて、ケースAとケースBを分離します。(下図参照)



分離後中に入っている固定紙を取り除いて下さい。(下図参照)



2. 浸水検知センサーの取り付け

ケースAとケースBの間に浸水検知用テープ心線を挟み込み、ケースAをケースBに装着します。

(装着時にカチッと音がします)

この時挟み込んだテープ心線が「捻じれていないか」また「ケースBの溝」に確実に入っているか確認して下さい。(下図参照)

装着が終了しましたら、ケースAとケースBが確実に嵌合しているか確認して下さい。

(原則として、浸水検知センサーにはテープ心線をばらさずにテープ心線のまま挟み込みます。)

